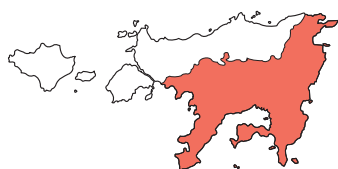


議会 だより

保・幼・小・中学校における
人権・同和教育の集大成
小豆島中学校 人権集会（人権劇）



小豆島町

No.39

平成28年2月1日 発行



- 審 議 議 案
臨時会・定例会について…………… 2
- 一 般 質 問
10名の議員が質問…………… 4
- 中 学 生 議 会……………11
- 視察研修報告……………12
- 住民の声・町の力……………14

新春の

ごあいさつ



小豆島町議会 議長

森 口 久 士



謹んで新春のお慶びを申し上げます。
日頃から議会に對しまして温かいご理解とご協力を頂き、心から厚くお礼申し上げます。

本年は、目前となる新病院の開院、瀬戸内国際芸術祭開催等、町にとって大切な年となります。

私たちは「町民目線に立った議会の運営」を基本に、皆様の期待に応え、積極的に議会活動を進めてまいりますので、よろしく願います。

議員 大川 新也 坂口 直人 中松 和彦
松下 智 谷 康男 柴田 初子
藤本 傳夫 森 崇 安井 信之
秋長 正幸 鍋谷真由美 中村 勝利
浜口 勇

11月 臨時会

第3回臨時会

第3回臨時会は11月9日に開催され、提案された次の3議案に對し、それぞれ原案のとおり承認・可決しました。

物品購入契約

消防団用デジタル無線整備事業に係る物品購入契約
7,225,200円

小豆島町小学校※ICT環境整備事業に係る物品購入契約
19,515,600円

補正予算

一般会計(第5号)

主な補正は入部地区防火水槽移設工事費等
12,009千円

12月 定例会

第4回定例会

審議した主な議案

補正予算

一般会計(第6号)

補正予算額
2億8,556万5千円
補正後の予算総額
101億9,406万円
となります。主なものは次の通りです。

総務費関係

企画費

3,186万9千円
瀬戸芸2016における追加の開催経費です。

戸籍住民基本台帳費

313万1千円
マイナンバーによる、顔認証システムと情報連携ネットワーク(中間サーバー)の購入費などです。

民生費

※ICTを活用した介護サービスの産業化を通じたまちづくり事業
委託料
1,600万円

サンシャイン会が宮古島市(離島)と行う、広域連携事業への委託料です。

衛生費
病院事業会計負担金等
9,300万円

内海病院の入院患者減による運営費等の補てん費用です。

小豆島中央病院企業団負担金
535万円

企業団で雇用し、内海病院で1月から勤務する外科医の人件費負担金です。

農林水産業費

有害鳥獣等助成事業費
333万5千円

イノシシ・サルの捕獲頭数見込みの増です。

教育費

芸術振興費

1,183万1千円
瀬戸芸(三都半島アートプロジェクト)に出展する作家の作品制作等の準備経費です。

特別会計の補正予算

国民健康保険特別会計(第1号)

1億5,637万8千円
病院事業会計(第1号)
9,300万円

※ICT(情報通信技術)

条例

小豆島町農業委員会の委員等の定数条例
法律の改正により、農業委員14人（現行23人）、農地利用最適化推進委員9人となります。

条例の一部改正

小豆島町個人情報保護条例の一部改正
マイナンバー法の施行に伴い、特定個人情報の取扱いについて改正を行うものです。

その他の議案

瀬戸・高松広域連携中核都市圏の形成に関する連携協約の締結
高松市と新たに「瀬戸・高松広域連携中核都市圏」を形成するため高松市と連携協約を締結するものです。

小豆島町辺地総合整備計画の変更
財政上の特別措置等を受けるため計画の変更を行うものです。（入部地区の消防水利施設整備事業）

報告

平成26年度決算（意見をつけて）認定
平成26年度小豆島町歳入歳出決算認定については、決算特別委員会で審査（3日間）した結果、次の意見を付して認定するものと決定。
平成26年度土庄町小豆島町環境衛生組合歳入歳出決算については認定すべきものと決定。

個別意見

- 地域おこし協力隊員の活動内容と成果を住民に周知されたい。
⇒企画財政課
- スクールバスの送迎について、運行安全管理体制を徹底されたい。
⇒学校教育課
- 芸術家村事業（三都半島アートプロジェクト）の作品を地域に残すためにも、今後の計画の中で、アーティストとの契約を明確にされたい。また、事業の成果を検証し、運営の精査をされたい。
⇒社会教育課
- 現在進めているオリーブ10万本計画を達成するために、農林水産課と連携を図り、農地を精査し、休耕農地の情報を公開されたい。
⇒オリーブ課



定例会の審議の様子

議員発議

小豆島町議会傍聴規則の一部改正
議会の傍聴席に持ち込むことを禁止しているものに関し、社会情勢などを勘案し「つえ」について削除するものです。



町議会の傍聴席

指定管理者の指定

次の5施設の指定管理者の再指定を行うことが議決されました。
指定期間はいずれの施設も平成28年4月1日から5年間です。

- 小豆島産業会館
- 小豆島ふるさと村
- 小豆島オリーブ公園
- サン・オリーブ
- 小豆島オリーブビレッジ YOSHIDA

請願

「所得税法第56条の廃止」の意見書採択をもとめる請願
提出者
小豆島民主商工会

婦人部

TPP交渉「大筋合意」は撤回し、調印・批准しないことを求める請願
提出者
農民運動香川県連合会

農民運動香川県連合会

選挙

総務建設常任委員会に付託し、審査した結果、委員会及び本会議ともに、いずれも「不採択」となりました。

新日本婦人の会
小豆島九条の会
3件の紹介議員
鍋谷 真由美

伝法川防災溜池事業組合議会議員選挙



井口平治 氏

伝法川防災溜池事業組合議会議員であった岡田繁實氏の任期が平成27年12月19日をもって満了となり議長推薦により、井口平治氏（中山）を選出しました。



会 員 市 長 市 議 員

ふるさと納税の 今後の取り組みについて

町「結果の分析を行い、毎年返礼品の見直しを行うなど、より魅力が高まるように改善を加えたい」

よく一般に知れ渡り12月16日現在、小豆島町へ2,304件で約5,600万円になっている。町の特産品としてオリブ牛のサーロイン・醤油・そうめん・オリブ製品・地酒、体験メニューとしてシーカヤック・そうめんづくり・宿泊クーポンなどを取

質問 香川県下の市町の中では2番目に多くなっている。しかし、全国をみると驚きの納税額の自治体がある。小豆島町も取り組み方でまだまだ伸びるのではないのか。

答弁 この納税制度は平成20年度に創設され、27年度に改正があり、住民税所得割額が1割から2割に引き上げられ、今年10月から返礼品の見直し、クレジットカードの決済など全般的見直しを行った。

テレビや雑誌、インターネットの特集サイトで税制上の優遇措置や寄付による特典が広



ふるさと納税（応援寄付金）のパンフレット

りそろえ、毎年返礼品の見直しを行う。町の将来性、魅力度からして安定財源として期待できると思う。目標は1年間で1億円とし、今後も企業・法人のふるさと納税も可能性があり、多くの人に会ってお願いしたいと思っている。



会 員 市 長 市 議 員

地域経済の活性化になるような 住宅リフォーム助成制度を

町「制度設計し28年度から運用したい」

質問 リフォーム助成制度は商工業の活性化、地域の経済効果、地元商店の育成に抜群の経済波及効果があると言われているが、町内の建設・建築業者は資材、住宅設備機器等を町外から仕入れているのが多く見られる。これではせっかくの助成金が町外に流れていくと思われる。

答弁 リフォーム助成は地域の活性化に効果が期待できる。そのために町内の業者、商店を活用できる実態でなければいけない。今後町が発注する公共工事の資材は町内商店で仕入れるよう指導していく。

この現状を見ると助成制度が言われているような、商工業の活性化、地域商店の育成になるとは思われない。そこで公共工事の入札時、リフォーム助成の申請時に、町内で仕入れるよう指導をして頂きたいが。

この助成は現金ではなく、町内で利用できる商品券にし、発注者と請負業者には町内の商店から購入するようお願いをしていく。

助成率は工事費の20%で最高限度額は20万円、施行日は平成28年4月に運用予定である。



住宅リフォームで地域活性化を

職員の健康管理は万全か

町「健康管理には
万全を期す」



大川 新也 議員

質問 住民より、最近職員の顔色が悪いとか、元気がないとか度々聞かれる機会が多くなつた。体調を崩したり、変調を来している職員が見受けられる。また26年度職員の時間外手当が前年の1.4倍



- 3,454万円と膨れ上がっている。職員の健康管理は万全なのか。
- ①健康診断等は。
- ②オーバーヒート気味では。
- ③時間外手当の最高時間と最高額は。
- ④臨時職員を採用しているが、適正配置されているのか。
- ⑤12月よりストレスチェックが義務化されたがその対応は。

答弁 今、さまざまな課題に取り組んでもらい職員には大変な苦労をかけている。おかげで大きな成果も出始めている。しかし職員あつての町であり、職員の健康管理には万全を期すよう自戒する。

康診断を実施し、健康指導を行っている。
②無理を言っている。
③月150時間、35万円。

④各部署からの要望があれば配置する。
⑤ストレスチェックについては、副町長で今後対応してゆく。
(要望) 職員の健康を第一と考えて万全を期して欲しい。

草壁港公衆トイレは場所決定か

町「設置場所は変更なし」

質問 (その後どうなった) 草壁港公衆トイレ建設場所は正式決定したのか。

答弁 公衆トイレについては、町長就任時より紆余曲折した事について地元にお詫びする。地質調査結果を踏まえ設置場所の変更はな

し。まだ設計等課題があり、今後地元と協議・理解を得て夏からの供用開始を目途に建設する。

(要望) 場所変更がないのであれば要望する。1車いす等障害者への対応。
2入口が東向きで不便。
3防犯カメラ設置位置。
4駐輪場の屋根と4本の大木で視界不良。
5デザインがあまりにも奇抜であり再考を。



公衆トイレ予定地(草壁港駐車場)

しましま

幼稚園とは

町「自然を生かした教育を支援」

質問①12月町広報「森

のようちえん しましま」入園案内の記事が掲載された。どのような経過・対応か。

答弁①自主サークルで決められた中で決まった遊びをするのではなく、自然との触れ合いを楽しむ活動しており、町も子育て応援モデル事業で支援・応援している。

質問②町立幼稚園・保育所があり、型にはまった教育もある程度必要と思う。町として応援すると言う事は認めると言う事か。

答弁②認可はしないし、相談もない。保護者の方の選択肢も増え、このような活動も応援すべきではないかと考えられる。

(要望) 自然を生かした教育は町立幼稚園も行っている。応援も良いが話し合いも必要。



県道沿いの旧旅館跡(神懸通)

旧高橋旅館焼け跡問題のその後は

町「欠損処理は判断中」

質問 旧高橋旅館焼け跡について法律制定後の経過の進展がないが、また焼失から丸6年が経過、固定資産税の滞納は欠損処理になるのでは。

答弁 空家特措法に沿った順番があり、現時点では協議会の設置が遅れている。早急に立ち上げ手順を踏んで処理したい。欠損処理については時効中断を行っており、今、可否の判断をしている。



安井 信之 議員

消防水利の

計画的な充実について

町「県に申し入れを行う」

質問 消防水利の計画的な充実については水道事業の県統廃合を進めているが、消防水利の計画的な充実が必要では。

事業をするという前提で体系がつけられている。

そのような問題について、県の広域の担当者との協議をする。

置が迅速かつスムーズに行えるような体制づくりを県に申し入れを行い、明確なる答えをもらう。

消防水利については、池田分署がなくなるので、消防水利は充実していく必要がある。

答弁 水道事業の県の広域化、統合化に関連して、県全体としてやるべきだという立場で50年後、100年後を見据えての提案である。

しかしながら、水道法は市町村が水道事業をするという前提で体系がつけられている。

また、水道広域事業体に参画した場合には、町と水道広域事業体が協議をして、町が必要と判断する消火栓の設



防火水槽として使われている海（浜条）



坂回 直人 議員

地籍調査の

取り組みについて

町「福田地区は平成29年度着手、31年度完了予定」

先的に地籍調査を進めようか。

質問 福田の乙番地は調査の手がつけられていない。安全な暮らしの実現や瀬戸内国際芸術祭の展開に直結するエリアである。

特に、吉田から福田のせまい道路の拡幅工事に着手するため、優

答弁 福田地区の調査については、平成29年度着手で完了は31年度

の予定。吉田から福田までの一部区間については、県も再三にわた

る自治会の要望から長年の懸案事項であるという理解している。

早速な解決が必要であるため、地籍調査とは別に香川県小豆総合事務所と協力し、境界の確定を行うべく、本年度から調査を開始した。

婚活支援について

町「男女の出会いをいろいろな形で応援したい」

質問 行政がかかわる婚活事業として、地域活性化と出会いの場の創出が融合された街コンが各地で数多く開催されている。

小豆島の魅力を活用し、民間企業と連携を図り、街コンを支援としてはどうか。

答弁 少子化が急速に進む中、婚活事業は重要な施策であり、出会いの場として利用する商店や地域が活性化されるという点でよい取り組みである。

これまでもふるさと村やオリーブ公園を中心に事業を行っており、今後も土庄町や両町の



12/20
に開催された婚活

質問 小豆島中学校の人権集会で3年生が行

小豆島中学校の人権集会について

町「人権・同和教育の集大成、
ぜひ生で観てもらいたい」



答弁 中学生の人権劇を毎年観覧しているが結婚差別、就職差別、

った創作劇を観て感動した。「差別はいけない」と言うものでした。私達大人は周りを見て行動するが頭の柔らかい中学生は差別を無くしようとする正しい「方向に進む力」があると思う。考えるとスポーツに優れている黒人の方が水泳で活躍している姿は見たことがない。「出身地や肌の色で差別」するのは無くしたい。町が差別を無くしようとして頑張っていることを評価しているがまだ無くなっていない。この人権集会のDVDを教育委員会を通じて全国の中学校に広げてもらいたい。「小豆島に差別がない」で終わらず全国でも差別を無くすことが必要に思うが。

同和教育など素晴らしい内容だと思う。保育所、幼稚園から始まり発達段階に応じた人権教育を推進している。あの劇の中の音楽の著作権問題など難しい制限がある。ぜひ、生で観てもらいたい。

平和を考える 小豆島について

町「小豆島は

平和の役割を果たす使命がある」

質問 実行委員会を作り「二十四の瞳に学ぶ平和トーク」を行った。当日の参加者のアンケートに「私は中国で生まれ生後20日で帰った。母は乳が出なくなり満州の人が乳を飲ましてくれた。戦争は反対だ」と切実なことが書かれ

ていた。平成27年4月に天皇皇后両陛下がパラオのペリリュー島を慰問し世界中の戦死者や戦没者に哀悼の意を捧げられた。あの戦争で日本人310万人が亡くなりその内、海外の死者が240万人と聞き驚いた。平和トークをした方が「小豆島は平和を考える島」にした方が良いと言われたが町の考えは。



天皇両陛下がパラオのペリリュー島に慰問

答弁 小豆島を「平和を考える島」にした方が良いということ賛成だ。小豆島から壺井栄・黒島伝治・壺井繁治が同時期に文学者に育ったことは偶然でなく背景と原因があるのではないかと考えている。28年は瀬戸内芸術祭2016が開催される。平和の象徴である二十四の瞳やオリブが生まれた小豆島の自然や伝統文化に触れてもらい平和について考えて戴きたい。

スクールバスの安全体制について

町「チェック体制の充実を図りたい」

質問 ハドソン川の奇跡で有名になったパイロットが当時一人の犠牲者も出さなかったこ

とについて「乗せているのは人間の命」と答えていた。私は元運転手ですが出勤すると「健康、時計、服装、所持品」のチェックを受けていた。現在は健康のチェックにアルコールインタローックがある。町のスクールバス11台の内、4台はかんかけタクシーに委託しているが後の7台の点検はどうしているのか。

答弁 スクールバスと言えど点検、運行管理、健康管理チェックは大切だ。道路運送法に基づいた安全管理者の担当者は正職員としている。アルコールインタローックは対象外ですが改善できるところは検討したい。



谷 康男 議員

義務教育の一貫性について

町「ニーズ調査し、中学校にプラスバンド部を設置するか決めたい」

質問 現在、各小学校でスポーツや音楽の教育がなされているが、野球や陸上といったスポーツは、中学校・高校へと一貫した流れができています。スポーツにおいて一貫

性が確立できるのであれば、音楽においても中学・高校へと一貫した流れを作るべきではないか。

答弁 まったく同感だが、教育委員会には小豆島

中学校と十分協議してほしい。

教育長 指導教師・楽器。部員の確保等、課題はあるが、平成29年度に設置する方向で進めていく。

教育施設の在り方について

町「小豆島高校跡地についてプロジェクトチームを設置し、検討に入りたい」

もよく耳にするが。

トチームを設置して本格的に検討したい。

答弁 県教育委員会で小豆島高校跡地部会を設置して検討しているが、あまり進んでいないと認識している。

小豆島町においても、これといった結論に達していない。

役場内にプロジェクト



平成29年度に統合される小豆島高校



柴田 初子 議員

マイナンバー制度について

町「町内の状況や国の動向を見据え検討する」

質問 マイナンバーカードでコンビニでの各種証明書交付サービスが出来るとあるが小豆島町ではコンビニ交付サービスを導入するのはいつ頃か。顔写真は

運転免許証のサイズでも可能か。

万円以上かかることから予定はしていないが、住民サービスの観点から必要になれば検討する。顔写真は免許証サイズでは不可となる。

オリーブイルカカードの推進について

町「イルカカードを大いに活用していただきたい」

質問 オリーブバスの運賃、路線を抜本的に見直し、28年3月から新路線の運行が始まる。住民に利便性の高いイルカカードの推進についての考えは。

機を設置している。普及促進については高齢者の運転免許の自主返納者にカード発行と費用の助成をしている。イルカカード1枚で公共交通がスムーズに利用できるメリットが種々ある。

答弁 イルカカードの販売は土庄港バス事務所とバスの車内でしている。町内の草壁港、池田港に自動チャージ

今後は団体からの要望で小豆島オリーブバス(株)の協力のもと、乗り方教室、抜本的見直



オリーブイルカカード

しの取り組みをする等、連携強化を図りイルカカード普及に努めたい。



松下 智 議員

高校生の通学バス定期券の負担軽減を

町「保護者の負担軽減と、路線バスの利用促進策の両面から、支援策の制度化を

検討したい」

質問

①公共交通計画の「路線バスの再編・見直し」では、高校生の通学定期券の上限額が7,200円とあるが、新高校へのバス通学の際、内海地区の生徒は全て上限額の負担になると思われる。

子育て支援の立場や行政の政策的な観点から、保護者の経済的な負担軽減を考慮する必要性は考えられないか。（例えば5,000円程度の保護者負担は不可能か。）

②負担軽減を検討の場合、バス会社の運賃収入の減少による影響・土庄町の理解・交通協議会での再調整などによって、交通計画の遅延の影響があると想定

される。

負担軽減策を実施する場合には、通学定期券の単価（運賃）の変更ではなくて、子育て支援の視点による、行政からの直接的な助成形態が必要と思われるが。

答弁

①通学定期券の上限額7,200円は、基本運賃の6割引き、現在の通学定期券の半額になっている。昨年12月に実施した保護者からの通学アンケートでは、約4割が1ヶ月5,000円を希望している。

これらを踏まえて、利用ニーズの把握を行うためにも、出来るだけ早い時期に再調査を実施し、さらなる支援

策の制度化を検討したい。

②バス運賃は、交通協議会での合意形成が出来る。さらなる支援策は「子育て支援策」としての保護者の

負担軽減という面と「交通施策」としての

路線バス利用促進の両面を補完する新たな施策として、制度設計を行う必要があると考える。



通学に利用されるオーリーブス

次年度以降のプレミアム

商品券の継続方針は

町「継続的な消費喚起を促す意味からも、引き続き商品券の発行を検討する」

質問

プレミアム商品券発行の目的は、町内での消費喚起と消費拡大・地域商業の活性化・町内経済の振興などがある。この目的の達成には、次年度以降も継続することが重要な要素と考える。

①今年度の販売状況と換金状況は。
②今年度の反省点と今後の課題点は。
③次年度以降の実施方針とその方法は。

答弁

①・②・③町内の消費を喚起し、地域経済の活性化を目的に発行した3万セット・3億6千万円は完売され11月末時点で3億1千万円



プレミアム商品券の継続を

が換金されている。町内で相当の金額が動いたことになるので、一定の効果があつたものと考えている。

また、住民が町内の商店を利用し、商店が活気づくことが目的であるので、単年度の事業ではなく継続的な消費喚起を促す意味からも、引き続きプレミアム商品券を発行すべく検討している。



鍋谷真由美 議員

来年度予算編成の考え方は 町「総合戦略を具体化する」

した文武両道の人づくり、オリーブバスの料金、路線の見直しなど公共交通の再生、瀬戸内海の魅力を内外に発信する瀬戸内国際芸術祭の取り組みに予算の重点化をしたい。

財源は、国、県からの補助金や基金、合併特例債などの有利な町債を活用しつつ、ふるさと納税寄付金など新たな財源確保にも努める。

国保税、 介護保険料の 負担軽減を

町「負担軽減は
考えていない」

質問 来年度予算編成についての町長の基本的な考え方、方針、財源の確保は。

答弁 小豆島中央病院を核とした地域医療福祉、新しい高校を生か

答弁 国保の財政運営

は著しく悪化し、本年度は一般会計からの繰り入れを実施している。

4月から軽減対象となる所得基準額の引き上げにより、軽減対象者を拡大したので、さらなる負担の軽減は考えていない。

介護保険料は、介護給付費準備基金を取り崩すとともに、給付費とは別枠の新たな公費の投入により、低所得者の保険料負担軽減を図ったところである。

一般財源の繰り入れによる負担軽減は適当でないと考えている。



子どものインフル エンザ予防接 種に補助を

町「費用と効果の
面から難しい」

質問 インフルエンザ予防接種は子どもは2回受ける必要があり、子育て世帯の負担は大きい。善通寺市や直島町、まんのう町で助成を行っている。子育て支援としても予防接種に助成をすべきではないか。

答弁 乳幼児に対するワクチンの接種は、任意であり、現時点では高齢者ほどインフルエンザの発症や重症化防止の効果が明らかではない。発症予防や医療費抑制の効果が明確になれば、補助も検討していきたい。

洋式トイレの増 設、専任の学校 司書の配置など 教育環境の整備 を

町「学校司書の
採用を予定」

質問 今の子どもたちは、洋式トイレで育ち、学校のトイレで排便しない子が4割いるという調査もある。集中して学ぶためにも、小学校に洋式トイレを増やすべきではないか。

学校司書については26年12月議会でも求めたが、その後の状況は。学校に専任の学校司書を採用配置することとあわせて、図書を更新充実を求める。



星城小学校の和式トイレ

答弁 各小学校のそれぞれの箇所に1カ所ずつ洋式便器を整備している。洋式便器に変更する際には、広いスペースが要るので和式が1つ減る。学校の要望を聞いてもう一基ずつ増やすことも考えている。

今年度から町立図書館の司書を各学校に月2回程度派遣してきた。来年度は、学校司書1名の採用と、中学校に比べて1人当たりの予算が少ない小学校の図書購入予算増額を要求している。



小豆島町

「町長・教育長に質問！」

10月14日、小豆島中学校の生徒12人による、中学生議会が開かれ、町政に対する質問を行いました。



や ぎ まさき
八木 政紀 議員

子どもが安全に遊べる場所の確保について。
(答弁) 新しい公園を作る予定はありませんが、自治会へ遊具を設置するための費用を補助する制度(最大50万円)をしています。



な かつ こうや
中田 光陽 議員

新病院へのバス増便の予定は。内海病院はどうなるのでしょうか。
(答弁) バス運賃上限300円で、現状の便を利用願いたい。内海病院は診療所、役場庁舎、特別養護老人ホームとして利用します。



すぎもと はやと
杉元 勇斗 議員

新病院の医師や看護師の確保は。
(答弁) 人員はほぼ確保できたが、薬剤師や助産師は引き続き募集し、医師も増員できるよう香川大学医学部へ依頼し、全国から募集しています。



しんかわ あやえ
新川 礼栄 議員

子どもの減少を食い止める対策は。
(答弁) 小豆島の魅力を高めることと、今年3月に「すくすく子育て応援アクションプラン」を策定し、取り組みを行っています。



おかだ ともや
岡田 朋也 議員

小豆島高校や土庄高校の敷地や校舎の跡地予定は。
(答弁) 所有は香川県となり、跡地利用について、閉校となる29年3月の期限にとらわれず検討をします。



み き あやね
三木 綺子 議員

統合高校への自転車道整備と部活動等での最終定期バスへの対策は。
(答弁) 県に早期整備、地権者に道路用地の協力を求めている、今後、最終便の時間帯を設定していきます。



いわた かずま
岩本 一真 議員

平和な島を保つため、犯罪を防ぐ対策は。
(答弁) プライバシー等に配慮しながら、防犯カメラを交叉点に設置しており、更に各港に設置します。



てるした つかさ
照下 司 議員

イノシシなどの有害獣の対策は。
(答弁) 「環境づくり・防護・捕獲」という3つの方法で被害を減らす努力をしています。



まさこ はるか
真砂 春花 議員

公共施設の耐震化はどのくらい進んでいますか。
(答弁) 幼稚園・小中学校は基準をクリアしているが、公民館・役場は進んでおらず、耐震化率78.7%です。



あきなが ひより
秋長 陽和 議員

瀬戸内芸術祭の観光客数は。毎年開催は難しいのでしょうか。
(答弁) 2013年は約20万人が訪れました。エネルギーを蓄える十分な準備が必要で、3年に1回の開催がベストです。



わ た やすこ
和田 靖子 議員

島に帰ってくる人、島で働く人を増やすために対策は。
(答弁) 食品産業への支援事業と、一般財団法人として3公社を経営、雇用を創出し、ここ数年120名前後の移住者がいます。



あけだ みほ
明田 美穂 議員

観光振興に向け、オリーブに関するイベントの実施は。
(答弁) 「健康オリーブ料理レシピコンテスト」「オリーブ料理フェスティバル」等、オリーブを活用した様々なイベントを実施しています。



12人の小豆島中学校議員の皆さん

視察研修報告

総務建設・教育民生の2常任委員会は、平成27年11月4日～6日にかけて、合同で富山県富山市と石川県羽咋市、小松市で視察研修を行いました。

富山県富山市

研修事項①
『エゴマによる農業の6次産業化の推進について』

富山市は、目指す都市像を「コンパクトなまちづくり」とし、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを実現し、国の認定を受けて「環境未来都市計画」を策定しているところである。

市では農業の衰退、地域経済の活性化、市民の健康増進の課題に対し、エゴマの6次産業化を推進している。そのため、モデル地区として中山間地域に位置する山田地域において、環境未来都市プロジェクトの一環で、牛岳温泉熱等を活用した

植物栽培工場（エゴマの葉の生産）を整備して、エゴマの生産、加工、販売までを一体的に行う6次産業化を推進し、地域の特産品化や雇用の創出を図る。また、遊休地対策として大規模な露地栽培（24haの基盤整備）を計画している。

エゴマの効用については、アレルギー疾患等の改善効果があり、健康食ブームで注目されている。現在、オリーブ油とエゴマ油を混合し、より効用の高い製品の研究やサプリメントに取り組んでいる。

研修を終えて

富山市の都市構想の理念が「コンパクトなまちづくり」であり、すべての計画に反映さ

れ、施策が展開されている。

農業振興では、後継者不足・耕作放棄地の解消に向けて、温泉熱を利用した再生可能エネルギーの活用、また、健康志向が高まる中、エゴマの6次産業化に向けた取り組みは先進的な事例として参考になる。しかしながら、小豆島で再び、オリーブによる地域活性化を

目指したように、露地栽培による生産量の拡大、そして「牛岳温泉植物栽培工場」での安定した生産量の確保にも大きな課題があるように思われる。

本町でもオリーブによる6次産業化はす



エゴマの植物工場（富山市）

に行われているが、あらゆる分野を視野に、総合的なオリーブの研究・開発を進める必要がある。

研修事項② 『富山市エコタウン事業』

富山市は「環境にやさしい循環型のまち」という目標を掲げ、大量生産・大量消費・大量廃棄の社会構造から転換して、省資源・省エネルギー・リサイクルなどによる循環型社会を築き、地球環境にやさしい取り組みを目指している。

富山地区には、プラスチック加工業や石油関連企業、アルミ製造業などの地元素材産業が多く立地しており、これら産業の原料として再生品の需要が多く見込める。また、主要産業である農業と関連させた資源循環の取組みも可能である。さらに寒冷で多湿という気候の特徴から、暖房用や調湿材などとして木

炭の需要も多く見込めることができる。このため、富山市においては地元素材産業や農業、ハウスメーカーなどを中心に、再生品の利用先を確保し、回収した資源が確実に再生品として循環されるようにリサイクル施設の整備を推進している。

研修を終えて

富山市エコタウン事業では、それぞれのリサイクル事業が連携することによって、素材の段階的再利用を推進している。また、分別回収した後の資源を再商品化し再利用されて、資源循環が成り立っている。

エコタウン制度は、環境産業・新産業の誘致・育成を図るために極めて有効な施策と思うが、どの自治体でも取り組める施策としては難しいと考える。小豆島町においても、取り入れられる点を検討すべきと考える。



環境にやさしい循環型のまちを目指す富山市（市内から望む 立山連峰（北アルプス））



石川県羽咋市

研修事項③ 【農村地域の活性化及び振興策について】

羽咋市みこはら神子原地区は人口450人、高齢化率54%の地区である。自立・自活できる山村・漁村づくりを目指し、神子原地区活性化計画「山彦計画」を策定している。「空き農家と農地を活用した情報バンク」制度の導入。全国農業会議で「羽咋方式」として全国に紹介した。棚田米「神子原米」をブランド化するため、



直売所での「神子原米」
石川県羽咋市

タレントやエルメスデザインナーによる米袋のデザイン。皇室献上米、ローマ教皇や英国王室に献上する米活動を行っており、付加価値をつけ、直売体制を確立していた。最近、神子原地区をモデルとした、TVドラマ「ナポレオンの村」が放送されている。

都市住民との交流促進策として、棚田オーナー制度や烏帽子親農家制度、マエストロの村づくり計画等を行っている。

研修を終えて
小豆島町でも、3つの基本戦略、①人を動

かす「メディア戦略」
②購買意欲をかきたてる「ブランド化戦略」
③多くの人が訪れる「交流戦略」は同じであり、神子原地区の事例を参考にして町政に取り入れられたらと考える。

石川県小松市

研修事項④ 【小松市民病院に於ける健全経営と医師・職員の確保について】

小松市民病院は医師数58人、診療科目26、病床数344床の地域中核病院として日々医療活動を続けている。「基本理念」として、市民の健康を守るために質の高い医療を提供することを掲げている。

基本方針としては①患者の人権・権利の尊重②がん治療、救急医療、生活習慣病を中心とした医療の推進③地域の医療保険機関、介護福祉施設との連携強化、地域完結型医療の確立④働きやすい職場

づくりと人材の育成。以上4点が定められ、医療活動の指針としている。特に②は病院に特徴をもたせて運営することが肝要という観点から重要視されている。

医師の確保については域内大学との連携を重視。看護師については情報の収集、採用試験、そして採用後には資格取得の支援をも実施している。

また、2025年には団塊の世代が75歳を迎えるため、10年後の医療の在り方を構想し、当面の5年間について予防医療への取り組み、地域医療連携の再構築、診療機能の特化、集中医療・救急医療の強化、市民病院としての機能充実などの改革プランを立てて実施している。

研修を終えて

小豆島町においては現在、内海病院が中核の医療施設としてあるが、4月に小豆島中央病院へと移行する。

様々な問題がある中、新病院の開院により抜本的な解決が期待されている。

現在の経営面での問題は、医師不足と地域外での診療増加にあり、地域内大学との密度の高い連携・或いは職員にとって働きやすい環境と人材の育成・中核医療施設としての機能充実・住民に常に寄り添い信頼を受ける体制作りなど「小松市民病院」と規模の違いはあるが同じ課題である。

視察を終えて正面玄関で、丁度路線バスが入ってきた。玄関の直ぐ前がバス停になっており、バスの車体は小ぶりではあったが、乗り降りがし易く、気軽に利用できるバスであった。

極めて日常の光景ではあったが、地域医療を大切に思う地域の人々の姿を感じることができた。



石川県小松市民病院に佐藤企業長・村上参事も同行



「皆で協力・助け合い」

山口 公啓

(南蒲野自治会会長)

南蒲野自治会は、三都半島の南端に位置し、海岸線の4つの地区から形成された55世帯、人口135人の小さな自治会です。

これといった産業もなく、高齢化の進んでいる過疎地域ですが、人情にあふれ、地域思いの人が多く、住みよい地区だと自負しています。また、一番誇れるのは景観です。大嶽洞門を過ぎてから見える「花寿波島」、沖の方には鳴門大橋を見ることが出来ます。

また、小豆島最南端で「さぬき百景や夕日百選」に選定されている地藏埼燈台の展望台から見える瀬戸内海の眺望は絶景です。対岸のさぬ

き市、大串半島を近くに見ながら、備讃瀬戸を行きかう多種多様な船舶を間近に見られるポイントで、しかも西の方面には島と島の間に瀬戸大橋を見ることができ、景色・環境は非常に良い所です。

ただ、半島の端ですので、買い物や病院に行くのにも車で20～30分はかかり不便さを感じています。こんな地域だからこそ、今まで以上に皆で支え合っていきたいと思います。



県指定自然記念物 ハナスワジマ 花寿波島

「海と山のしましまようちえん」は平成28年度より、「森のようちえん しましま」と名称を変え、新たにスタートします。森のようちえんとは、デンマークで1950年代に始まった自然体験を主とする幼児教育です。

「しましま」は決まった園舎を持っていません。海あそびに良い季節にはエンジンエルロードへ、紅葉の頃には星ヶ城へ...といったように、その季節にあつた里山、海、山で週4日、1日4時間半たつぷり遊びます。

そうして1年を通して野外で過ごし、小豆島の四季の移り変わりの美しさを感じたり、暑さ寒さ、雨や雪といった気候の変化にも負けないたくましい心と体がはぐくまれているのを感じます。自然の中にあるものが何でも遊び



自然の中での幼児教育

Facebookも更新中です

【内田まで】

090-9819-0139

「海と山のしましまようちえん」

(問合せ先)

時間 9:30～14:00

の週4日

保育日 月・火・木・金

一緒に子どもたちの「生きる根っこ」を育てませんか。

「森のようちえん しましま」では共に遊び学ぶ仲間を募集中です！

や学びの道具になり、どんな広がっていきます。「子どもってすごいなあ！」と感心する毎日です。

「森のようちえん しましま」では共に遊び学ぶ仲間を募集中です！

一緒に子どもたちの「生きる根っこ」を育てませんか。

「森のようちえん しましま」では共に遊び学ぶ仲間を募集中です！

一緒に子どもたちの「生きる根っこ」を育てませんか。

「森のようちえん しましま」では共に遊び学ぶ仲間を募集中です！

一緒に子どもたちの「生きる根っこ」を育てませんか。

「森のようちえん しましま」では共に遊び学ぶ仲間を募集中です！

一緒に子どもたちの「生きる根っこ」を育てませんか。

「森のようちえん しましま」では共に遊び学ぶ仲間を募集中です！

一緒に子どもたちの「生きる根っこ」を育てませんか。

「森のようちえん しましま」では共に遊び学ぶ仲間を募集中です！

一緒に子どもたちの「生きる根っこ」を育てませんか。

「森のようちえん しましま」では共に遊び学ぶ仲間を募集中です！

海と山のしましま幼稚園

編集後記

新しい年を迎え、早や1か月が経過する。

「1月いぬる、2月にける、3月さる」と昔から言われ月日の経つのは早いもの。

今年、島にとって変革の年を迎える。町合併10周年、新病院開院、消防2署制開始、瀬戸芸開催、公共交通再編等々、すべてに議会の適切な判断と対応が必要となる。

「島民の安心・安全と住みよい島づくり」を考えて最善を尽くすのが今年と考える。

そのためには議会の情報を迅速に伝える、そして解り易く、読み易い議会だよりを目指して努力しなければ。

次回3月定例会は瀬戸芸・新病院開院の関係で2月下旬開催予定です。多くの方の傍聴をお願いいたします。

大川 新也 記

本紙に対するお問い合わせは

■発行 小豆島町議会 ■編集 小豆島町議会広報編集特別委員会

〒761-4388 香川県小豆郡小豆島町池田2100-4 TEL(0879)75-1100 FAX(0879)75-0108

E-mail olive-gikai@town.shodoshima.lg.jp